

広島県 商工会地域

中小企業景況調査報告書

第180回

令和7年4～6月期 実績

令和7年7～9月期 予測

令和7年6月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨	この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体内の約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象	(対象地区) 県内15商工会 祇園町、広島東、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、三次広域、備北 (対象企業) 231社 製造業55 建設業44 小売業67 サービス業65
3. 調査方法	経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間	令和7年4月～6月期実績、及び令和7年7月～9月期見通し
5. 調査時点	令和7年6月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運
- DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。
7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
- 「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
- 「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上
8. その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。
- (参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料
- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)
https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html
 - 中国経済産業局 (中国地域の経済動向)
<https://www.chugoku.meti.go.jp/toukei/keiki/keiki.html>
 - 広島県 (広島県経済の動向)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/75/1244079054510.html>

産業全体の概況

1. ポイント ※(独)中小企業基盤整備機構「第180回中小企業景況調査(2025年4-6月期)のポイント」より

・業況判断DIは、4期ぶりに上昇

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」は、前期(2025年1-3月期)から5.1ポイント増(▲16.3)と4期ぶりに上昇。産業別では、サービス業で7.3ポイント増(▲11.1)、建設業で6.3ポイント増(▲8.5)、小売業で4.4ポイント増(▲26.8)、製造業で2.9ポイント増(▲17.9)、卸売業で2.4ポイント増(▲13.8)と上昇している。

・小売業で売上単価・客単価DIがプラス圏に浮上

「売上単価・客単価DI(前年同期比)」は、小売業が7期ぶりにプラス圏へ再浮上し、物価高が進んでいることがうかがえる。他方、「原材料・商品仕入単価DI(前年同期比)」は、「売上単価・客単価DI(前年同期比)」に比べ高水準となっており、いずれの産業も高止まりの状態が続いている。

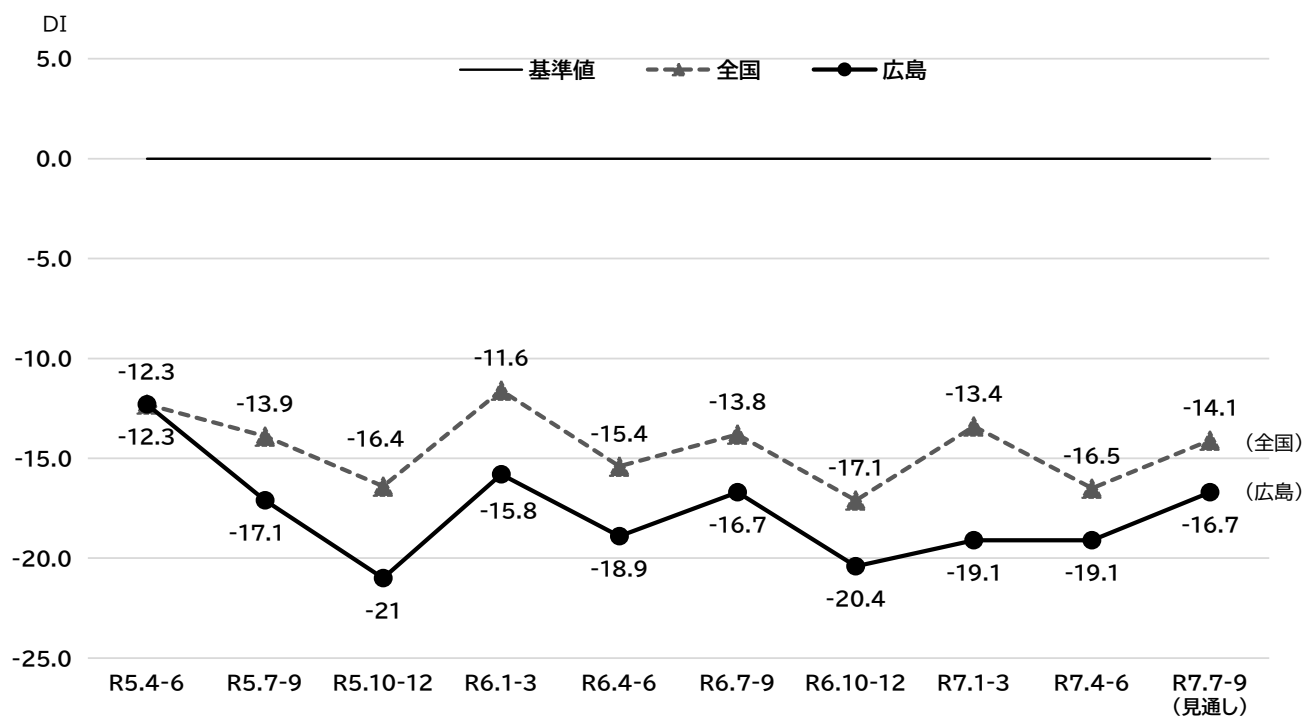
・人手不足が一層強まる

2000年以降における4-6月期の「従業員数過不足DI(今期の水準)」の推移をみると、製造業を除くいずれの産業も過去の最低値(マイナス値)を更新しており、人手不足感が強まっている。

産業全体の概況

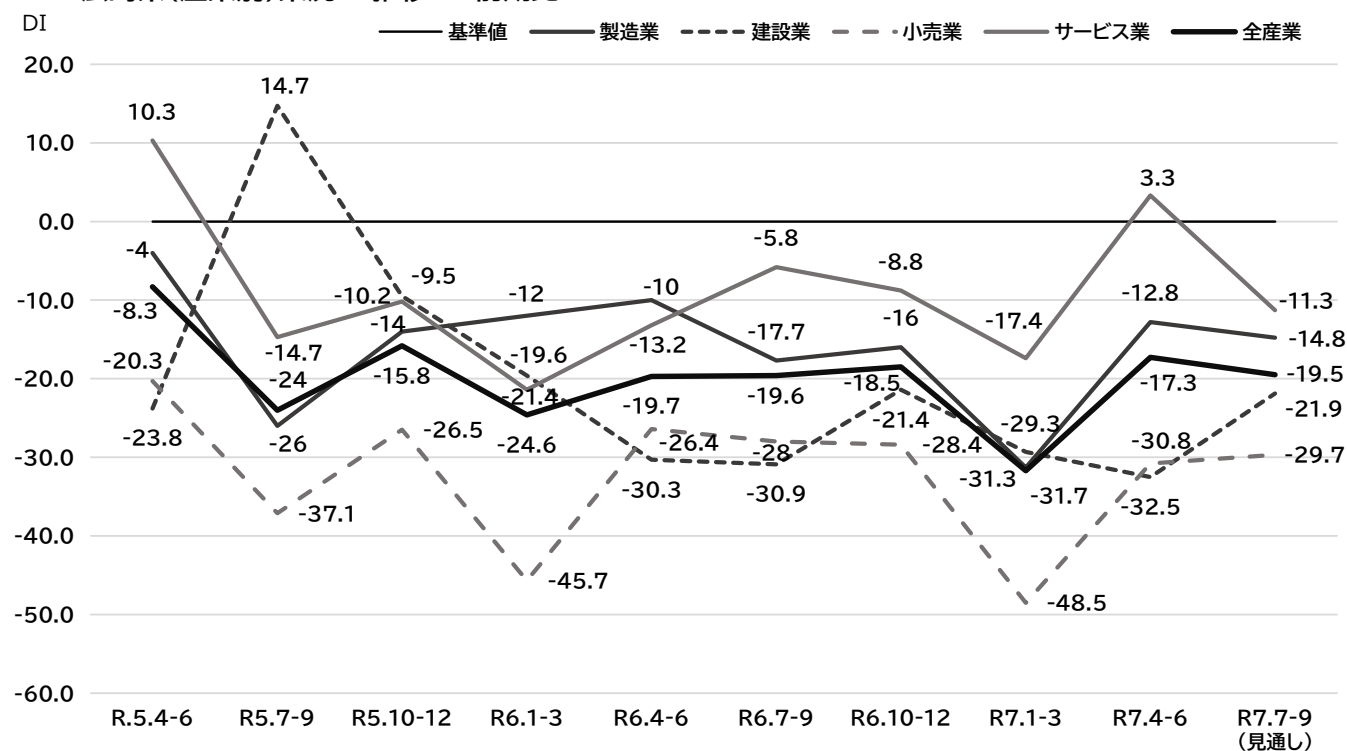
2. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県と全国(全産業)業況DI推移 - 前期比・季調済 -



3. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

広島県(産業別)業況DI推移 - 前期比 -



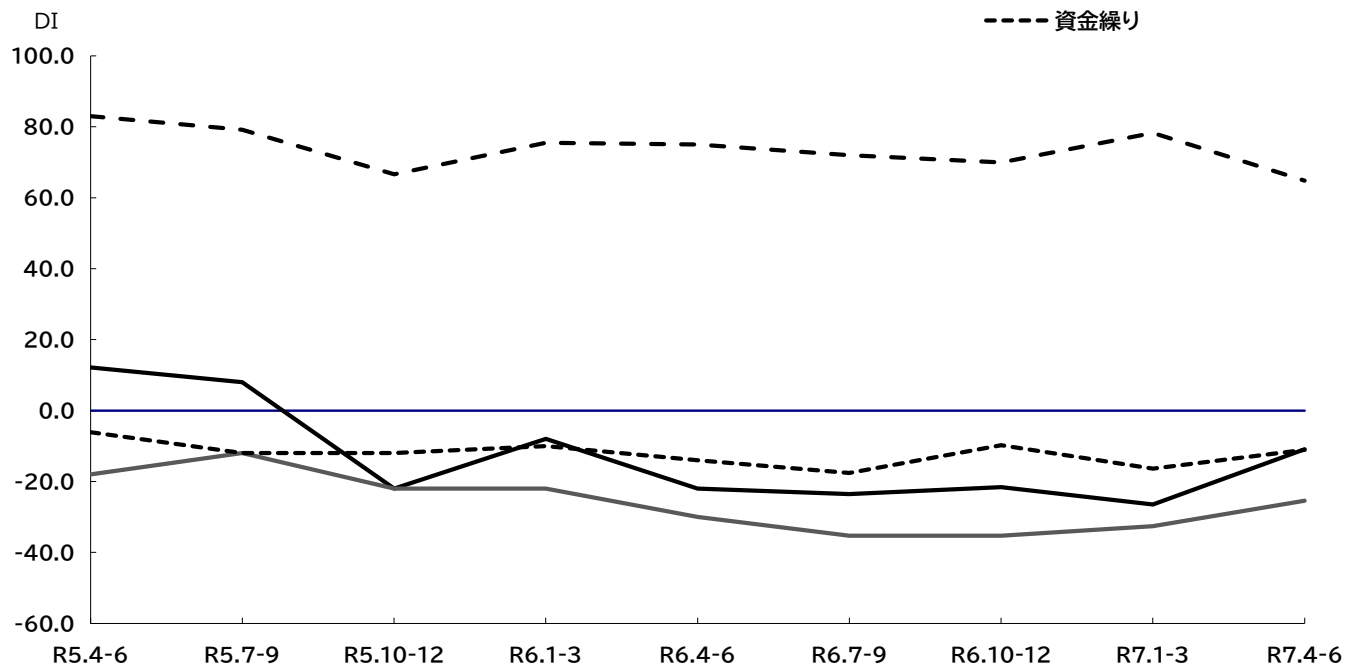
製造業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

製造業 DI	(前期)		(今期)	(来期見通し)	
主要項目	R7.1-3	R7.4-6	前期との比較	R7.7-9	今期との比較
売上額	-26.5	-10.9	↗	-14.6	↘
原材料仕入単価	78.3	64.8	↘	55.6	↘
採算	-32.6	-25.4	↗	-20.0	↗
資金繰り	-16.4	-11.1	↗	-12.9	→

広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

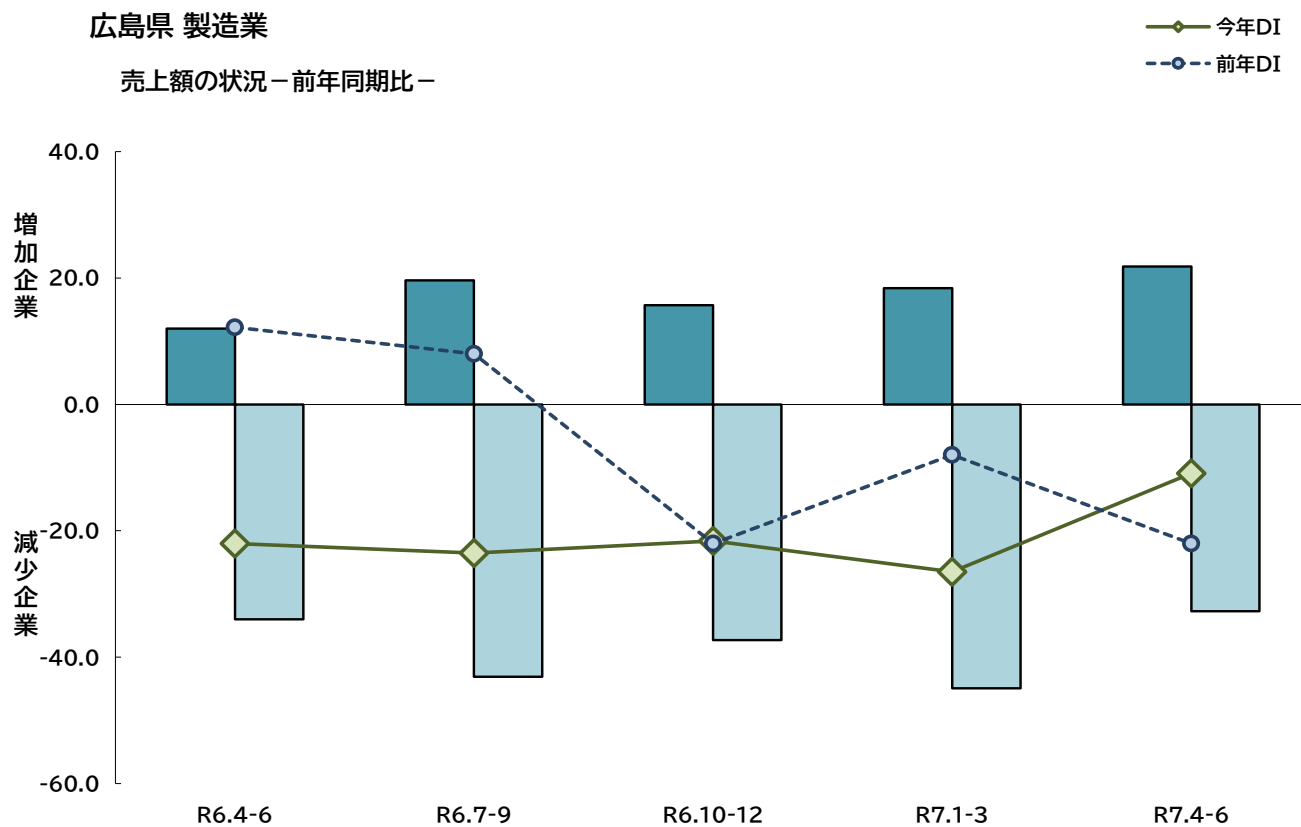
- ・ 原材料、電気代、ガソリン代、人件費、各保険代、税金などの値上げによって、売上は上がってもなかなか利益に繋がらない。
- ・ 原材料価格の上昇に加え、原材料不足により、商品の値上げに踏み切ったが、それを上回る原材料価格の上昇により、価格転嫁が追いつかないのが現状。商品への記載事項も増え、新商品が製造しづらい。
- ・ わずかながら引き合いが増したが、どれくらい続くのか不明である。以前からの物価の上昇が止まらないので、また価格の改定が必要になるか。原材料が不安定なので入手経路の分散を考えないといけない。
- ・ 2025年度は原材料や資材などの値上げが見込まれている。また、人件費も上げているため、売上・利益確保による努力が必要であると感じている。
- ・ 政府として景気よくなるための政策・取組を明確に打ち出していきたい。借入金利上昇・物価高騰のスピードに対して、製品の売上単価への価格転嫁が大企業より抑えられているため従業員の賃上げができない。
- ・ 現段階では売上自体は増加基調にあるが、取引条件の変更や昨年の急遽の設備投資により、資金繰りが急速に悪化している。
- ・ 全体的に景況感としては今ひとつで、設備や人材への投資したいと思いますが、長期資金を含む銀行借入が年々少しずつ困難になってきているように感じる。

製造業（商工会地域）

2. 売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 製造業

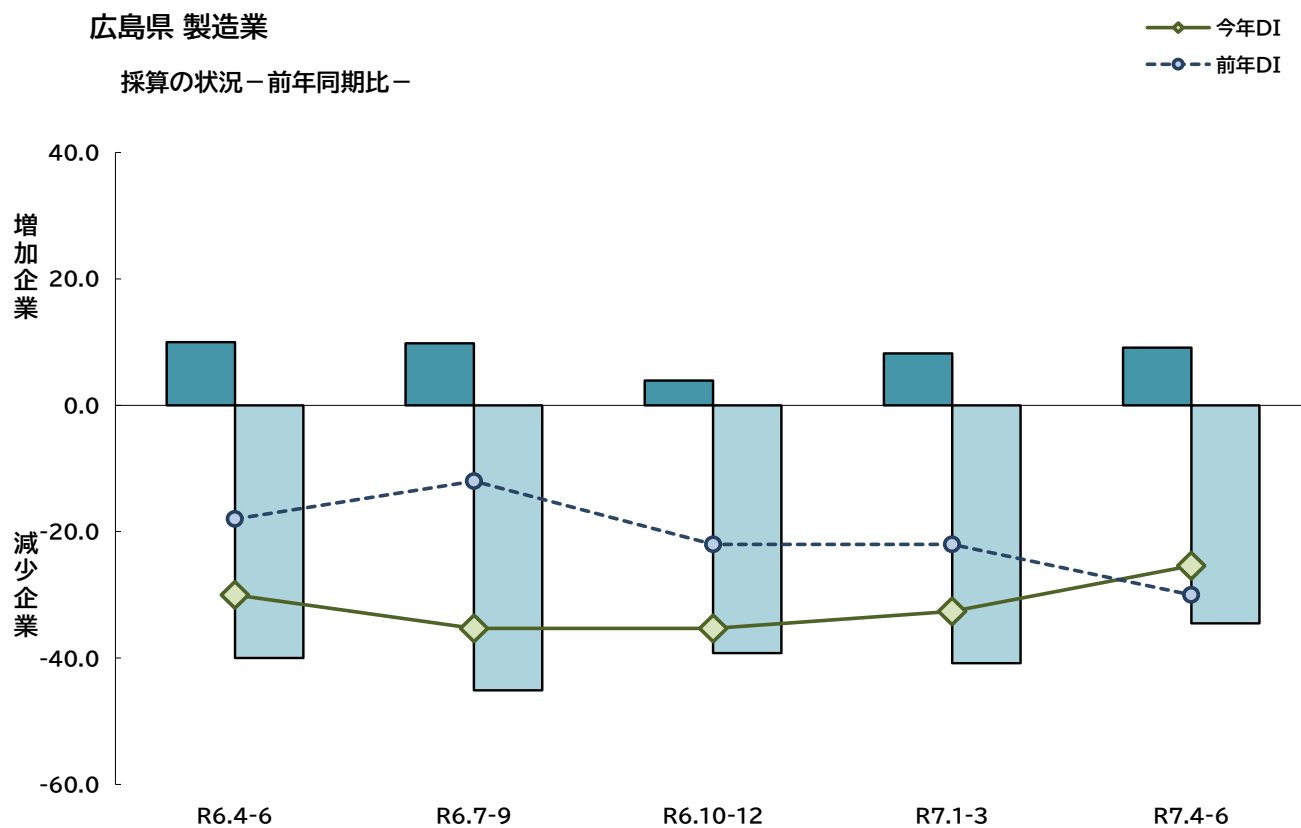
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

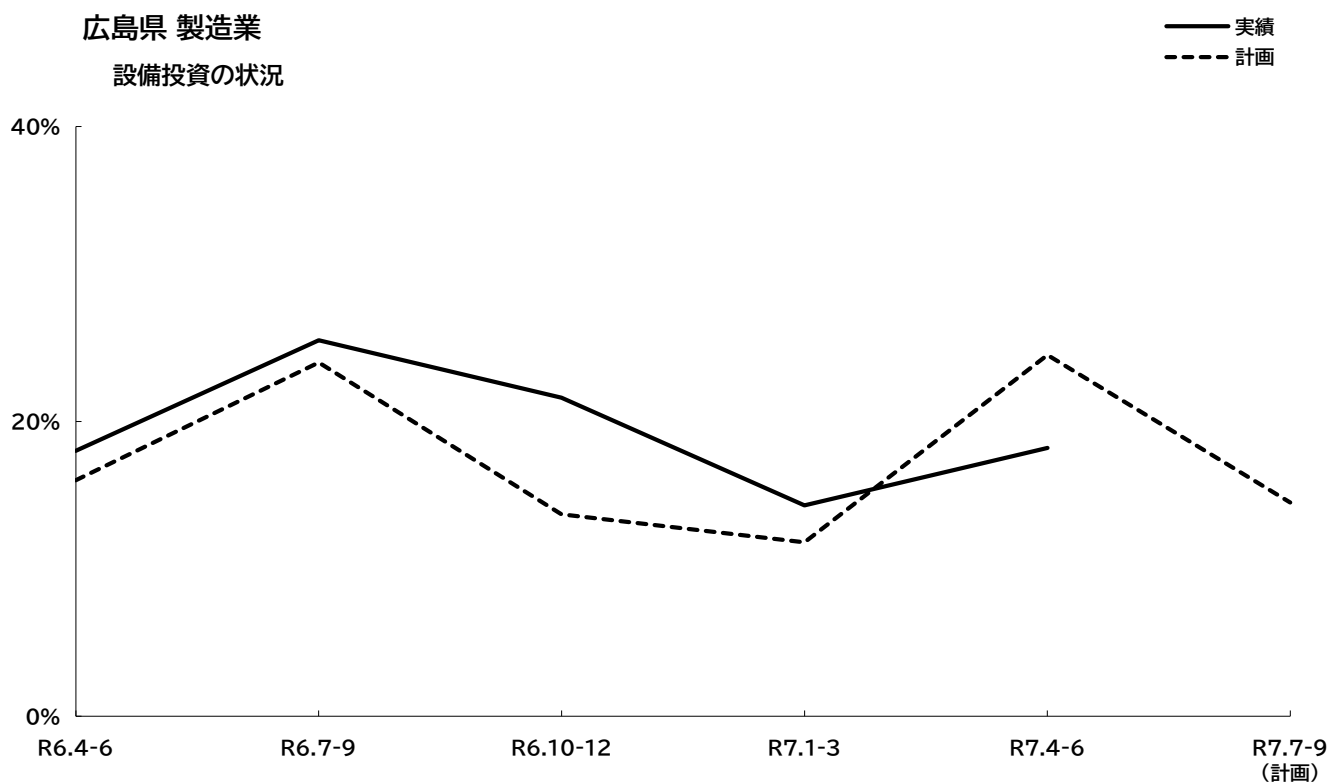
広島県 製造業

採算の状況－前年同期比－

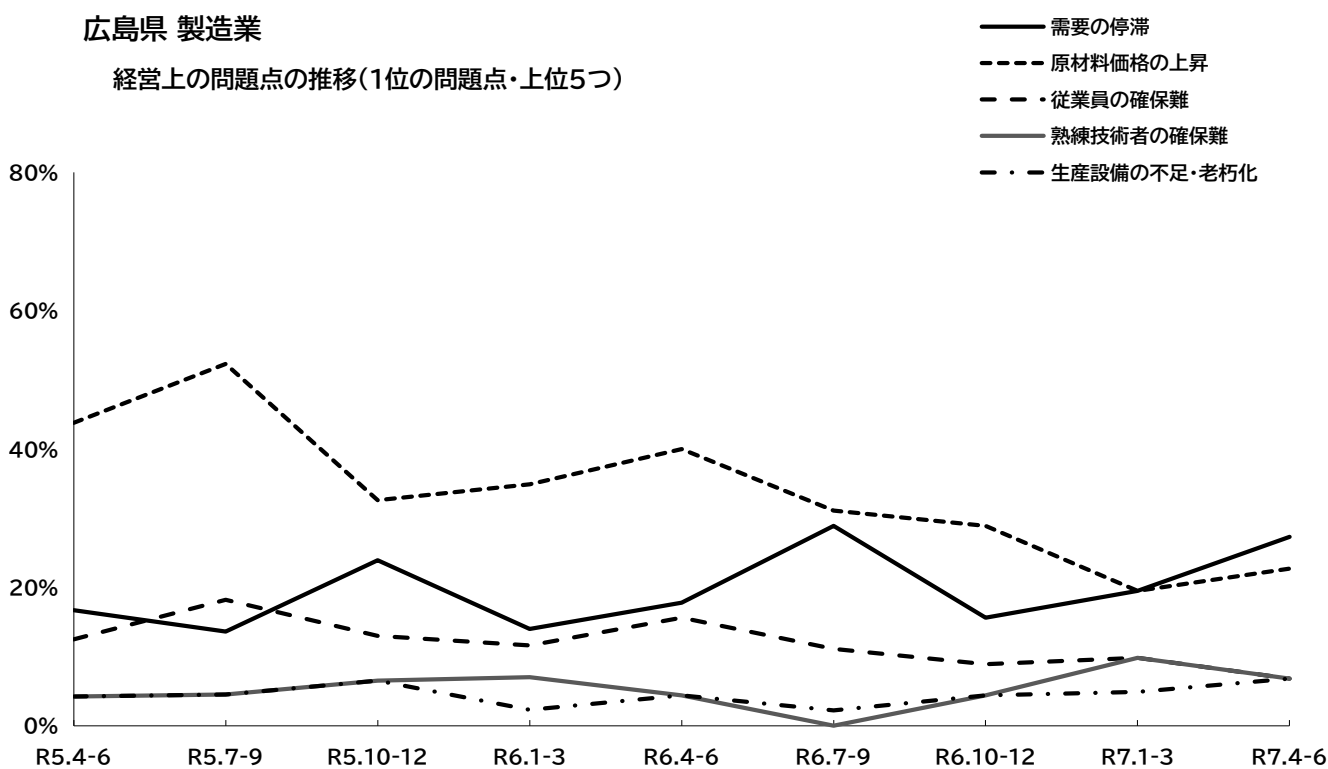


製造業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



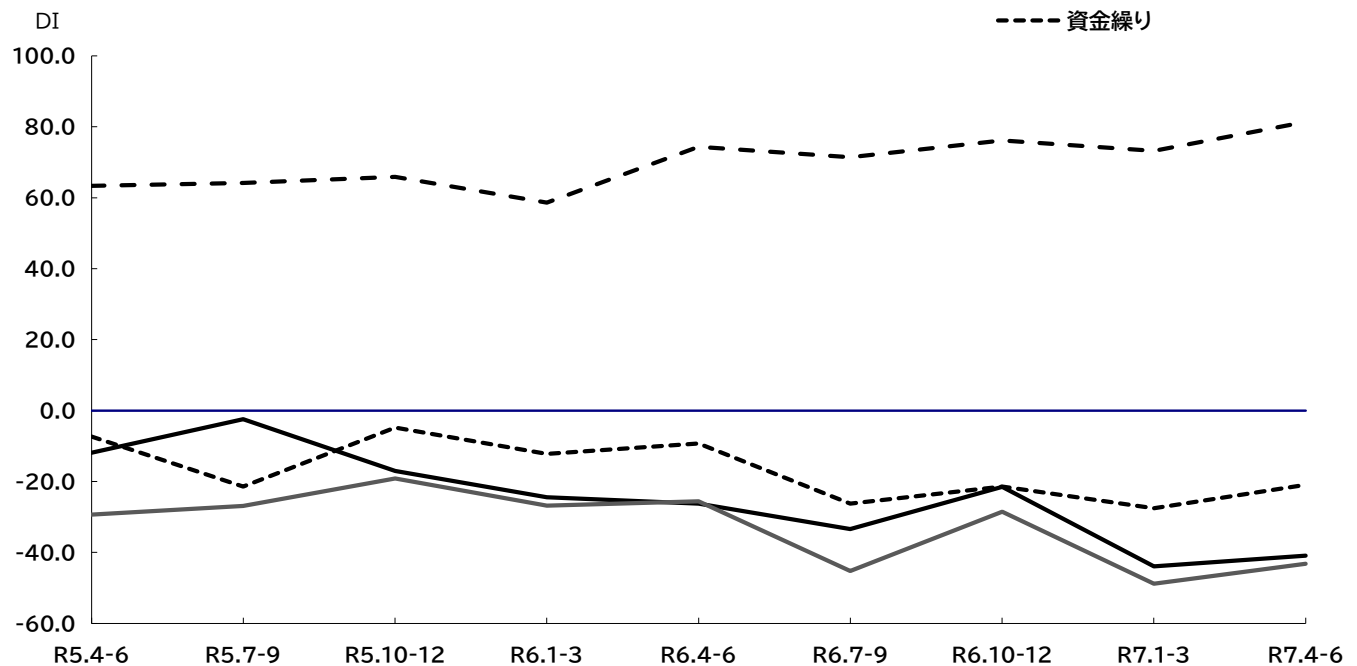
建設業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI	(前期)		(今期)	(来期見通し)	
主要項目	R7.1-3	R7.4-6	前期との比較	R7.7-9	今期との比較
売上額 (完成工事額)	-43.9	-40.9	↗	-31.8	↗
材料仕入単価	73.2	81.4	↗	38.1	↘
採算	-48.8	-43.2	↗	-46.5	↘
資金繰り	-27.5	-20.9	↗	-23.8	↘

広島県 建設業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



企業のコメント

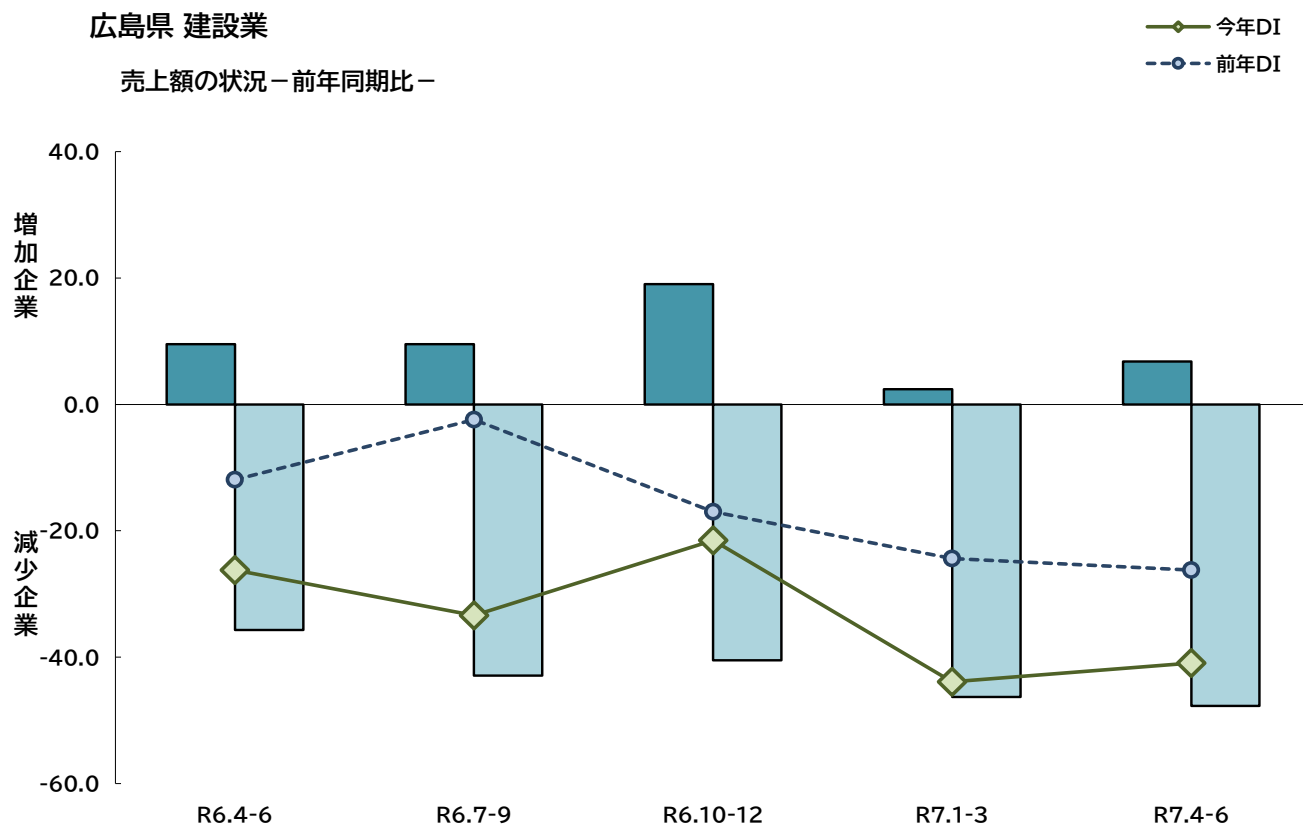
- ・ 材料価格の上昇が続いており、それを施工価格に反映しようと努力しているが、業種柄相見積りになることがほとんどであり、価格への反映が極めて困難な状況にある。
- ・ 業界全体で担い手が極端に少ないように感じている。また材料等の高騰で単価が上がり、特に一般消費者の買い控えが進んでいるように感じられる。
- ・ 令和6年以降、新規事業を開始しているが、その新規事業における事務手続き(補助金の申請業務等)を代表者自らが対応せざるを得ない状況。新たに従業員として雇用する余裕や雇用の機会に乏しく、難航している。
- ・ 現状で図面の作成、見積りから請求まで事業主自らこなしているが、アナログな部分も多く、極めて非効率な状況である。今期、図面や見積り業務の効率化を見据え、新たなシステム導入を検討している。
- ・ 外注先としての熟練技術者が確保が年々困難となっている。元請けとしての受注がメインで、現段階では引き合いも多く、順調に推移している。
- ・ 今日の業況を維持できている最大の要因は、長年に渡り取引先がほぼ不変であること。専門職として信頼を頂いて来た事に感謝しています。しかしながら、後継難で将来に期待が持てないことは残念です。
- ・ 全ての経費が以前よりかなり高騰しているため、経営を圧迫しているので業況が良くない。

建設業（商工会地域）

2. 売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

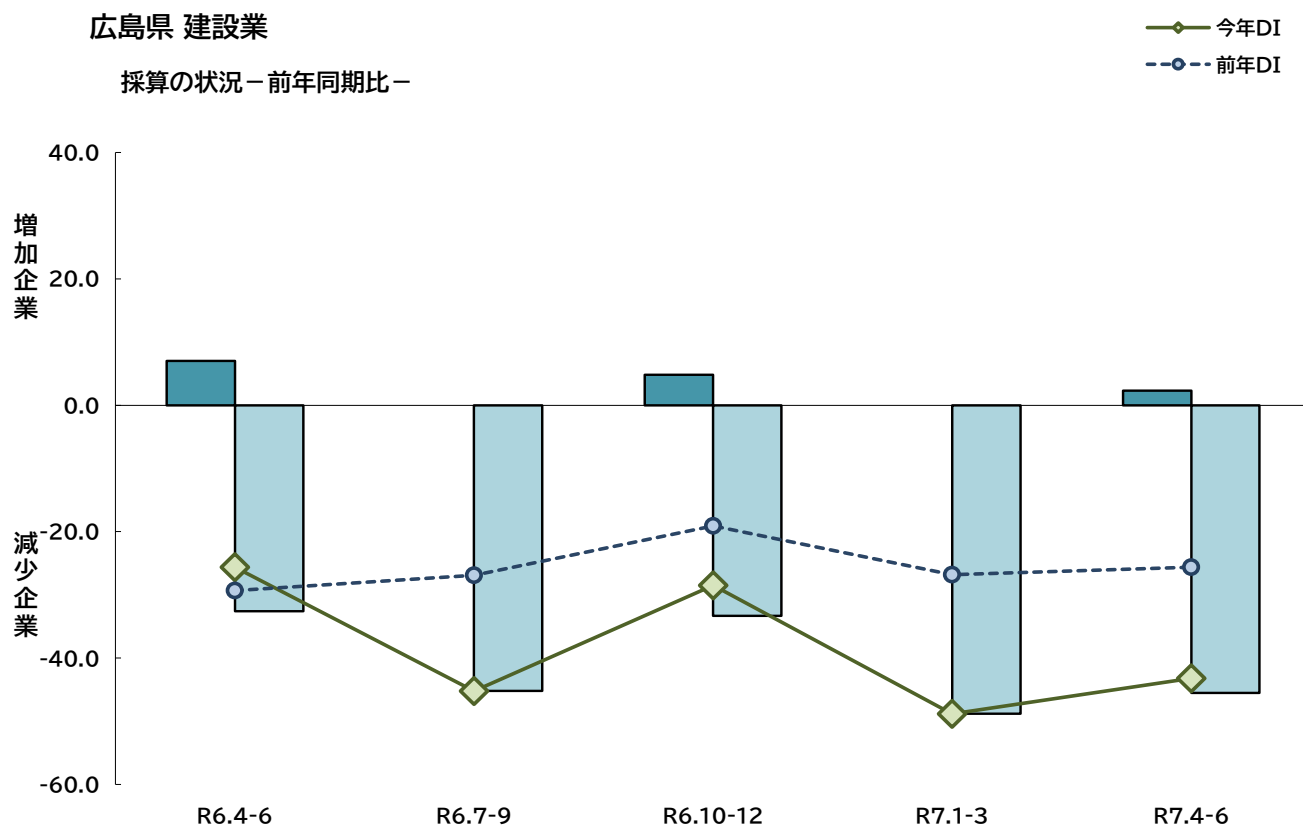
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

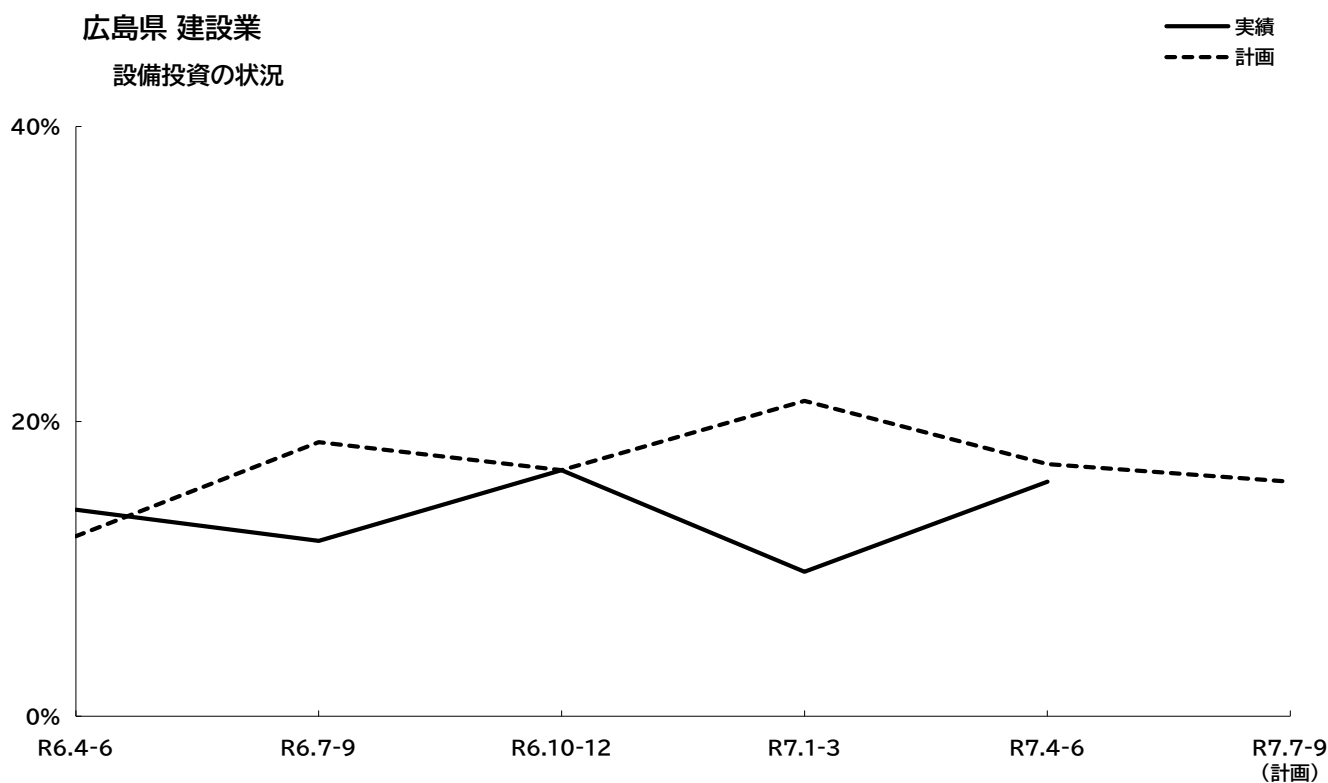
広島県 建設業

採算の状況－前年同期比－

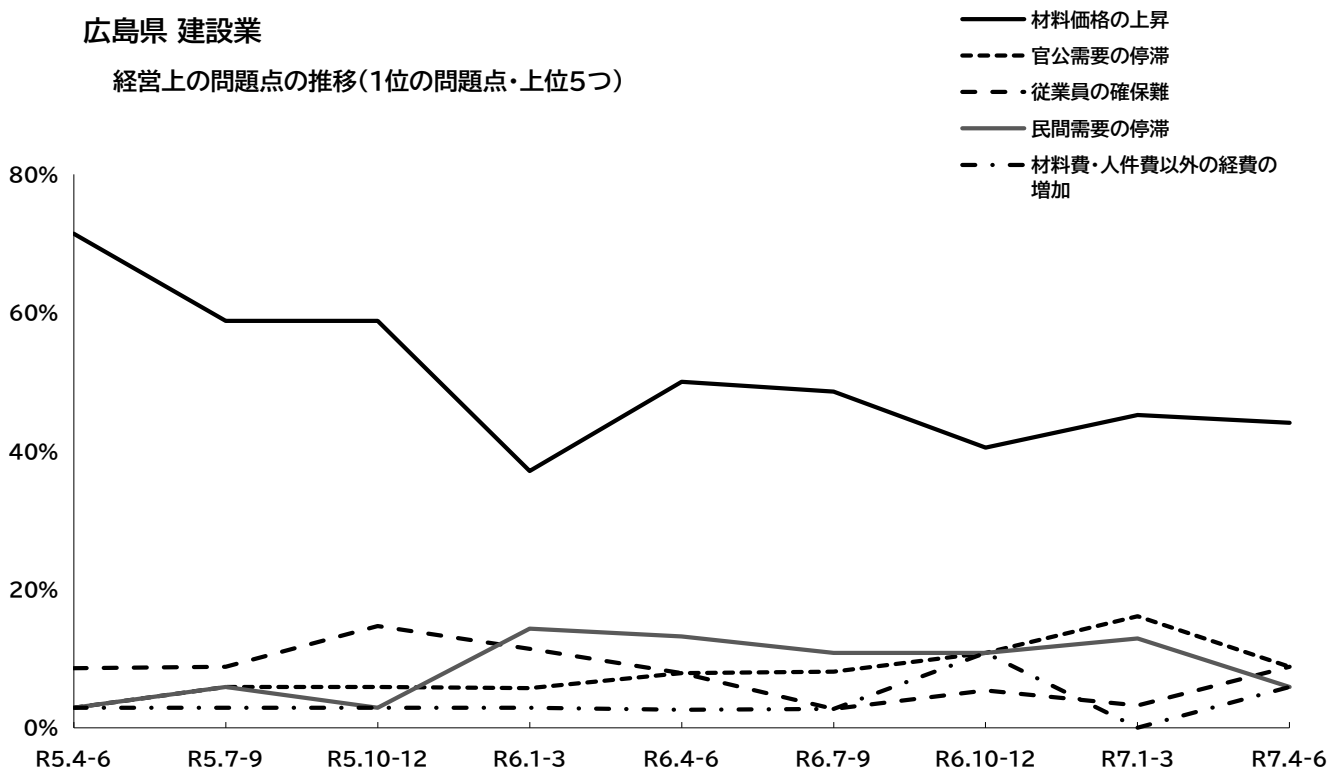


建設業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



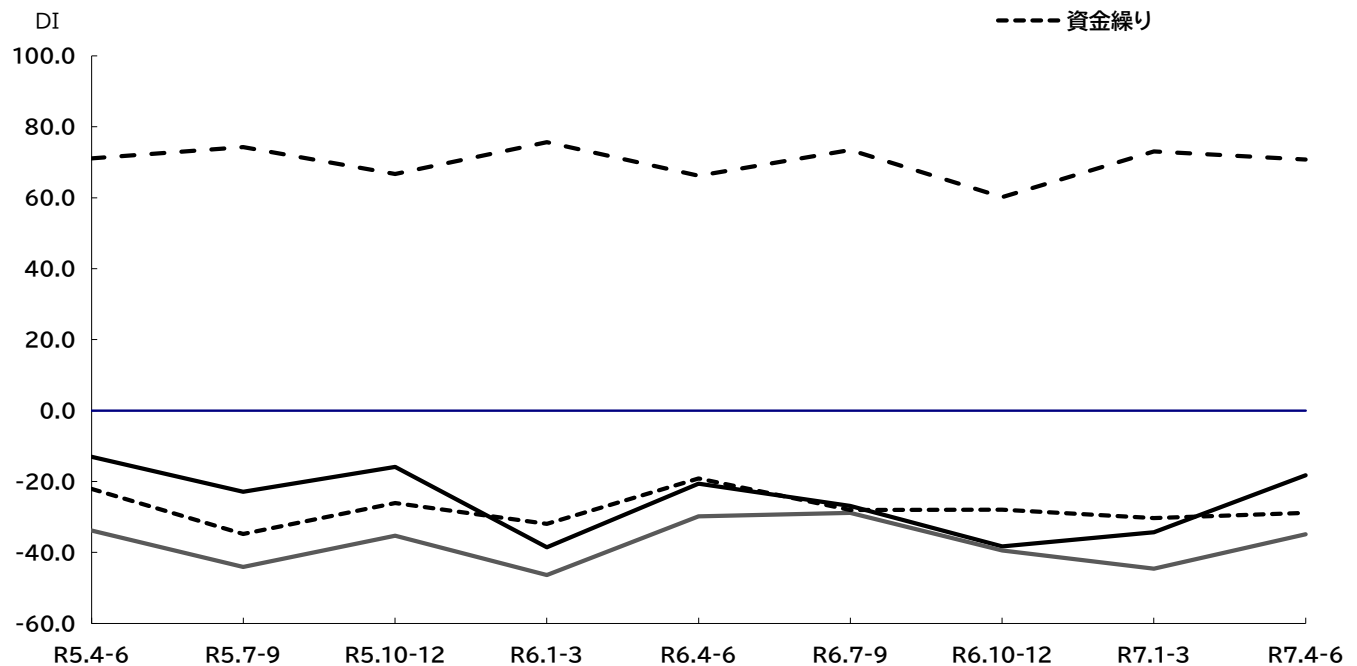
小売業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI	(前期)		(今期)	(来期見通し)	
主要項目	R7.1-3	R7.4-6	前期との比較	R7.7-9	今期との比較
売上額	-34.3	-18.2	↗	-21.2	↘
商品仕入単価	73.1	70.8	↘	55.4	↘
採算	-44.6	-34.9	↗	-37.9	↘
資金繰り	-30.3	-28.8	→	-30.3	→

広島県 小売業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

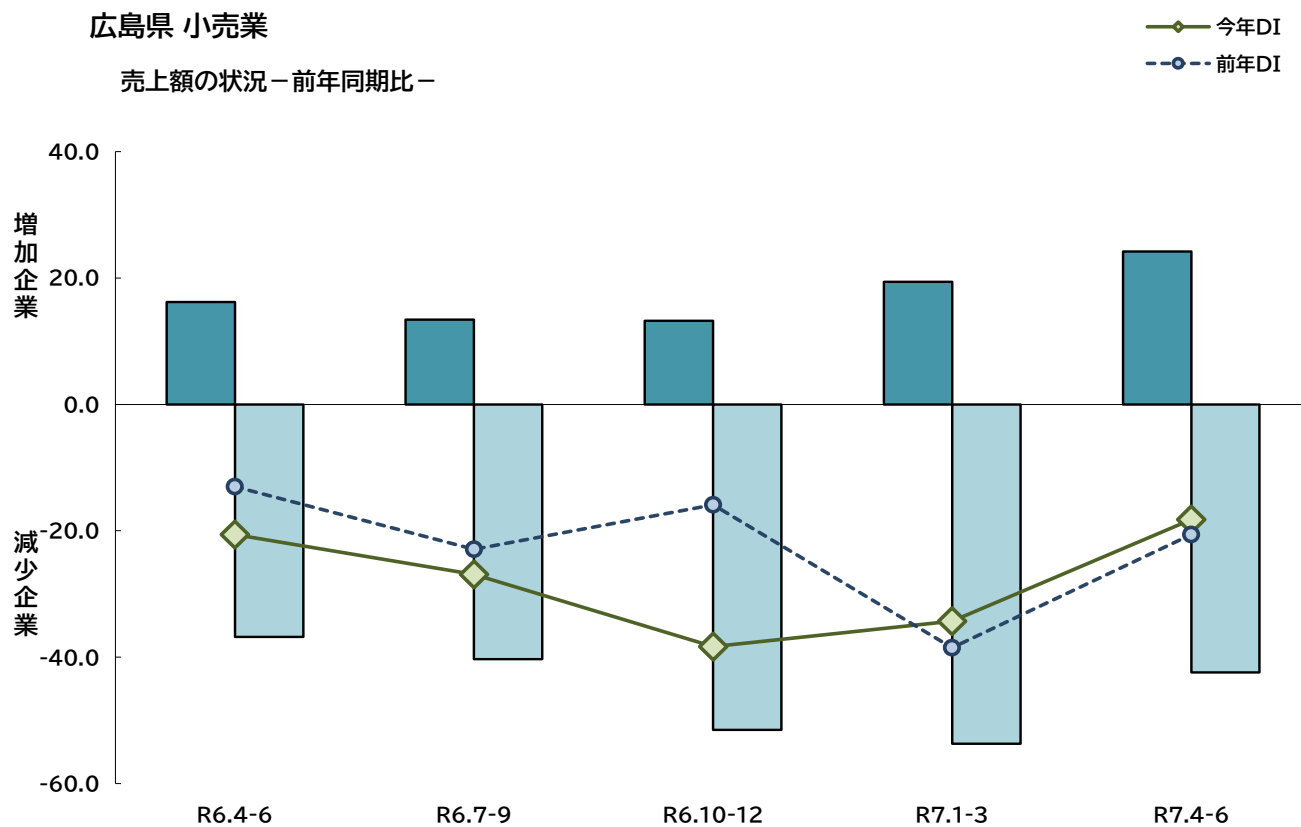
- ・ この数年来状況は同じであるが、高齢化も進む中、購買意欲の低下など引き続きの懸念材料もあり、上得意客の施設への入居、もしくは高齢により死去されるケースが多く顧客減少に歯止めがかからない。
- ・ 昨年来の物価の上昇の影響なのか、消費や購買が長期的に減少し、売上が伸びない。コスト面の節約とかの努力はしているが、収支トントンの状況。代金の回収や事業資金の面でも苦戦している。
- ・ 集合商業施設に店舗があるが、年々その商業施設全体の客数が減少基調にあり、直近は可能な限り出張販売での販促に注力している。
- ・ 仕入コスト上昇が日常的となってきた。簡単に価格転嫁できる商い環境に無い。さらに地域の高齢化による客数の減少に拍車がかかってきた。商店街区への客数も最近総じて大幅減少傾向とみている。原因は多数ある。
- ・ 高齢で車の免許を返納される人が多くなり、町外で買い物をしていて人が来店してくれるようになる一方、施設に入られたり亡くなる方も多く、高額の買い物をされる人が減少している。
- ・ 人件費、販管費等を削減はしたが、その分売上げを上げられずにいる。営業内容はやや好転してきているが資金繰りで厳しい状況にある。
- ・ 景気に安定感がない事と物価高で衣食住の衣がどうしても悪い影響を受けていると思われる。特に米とガソリンが高止まりしていて衣の方にお金が回ってきていない気がする。

小売業（商工会地域）

2. 売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

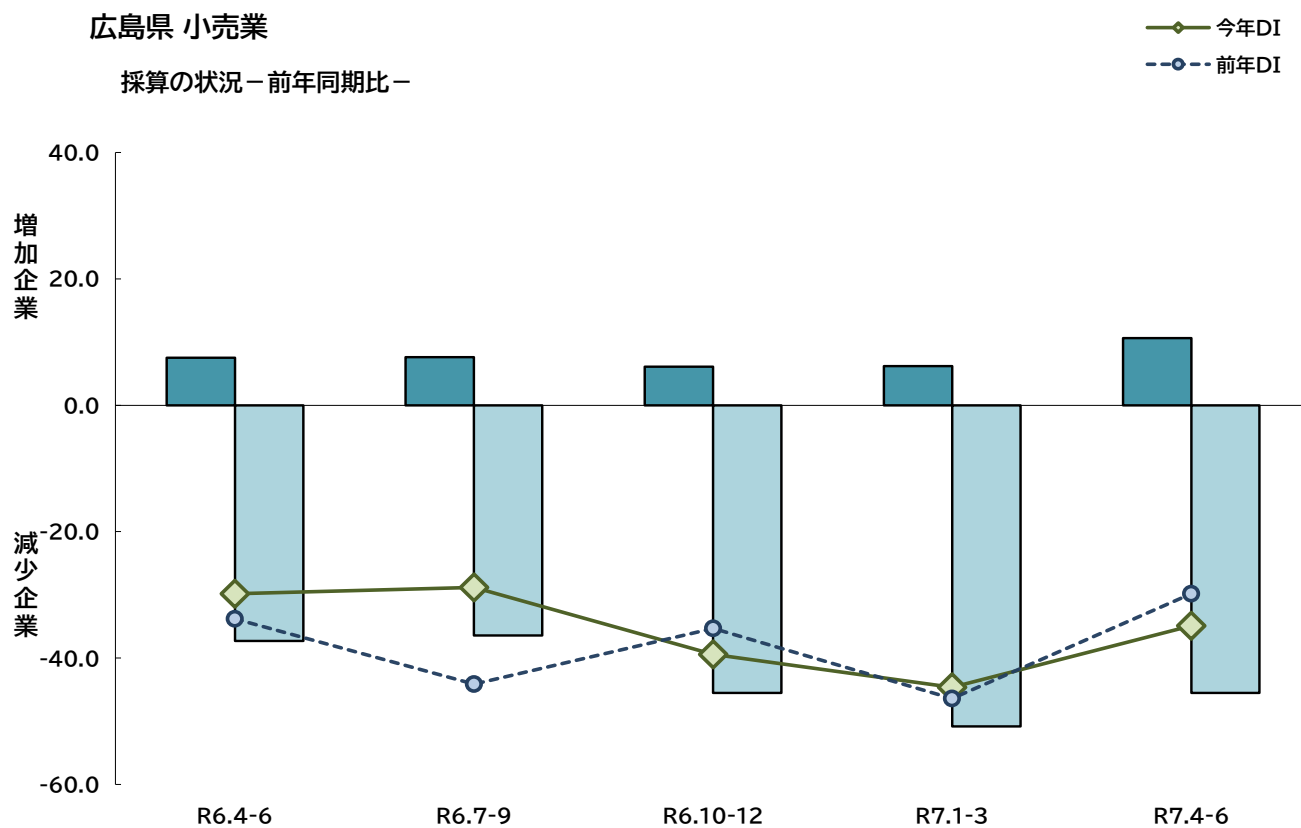
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

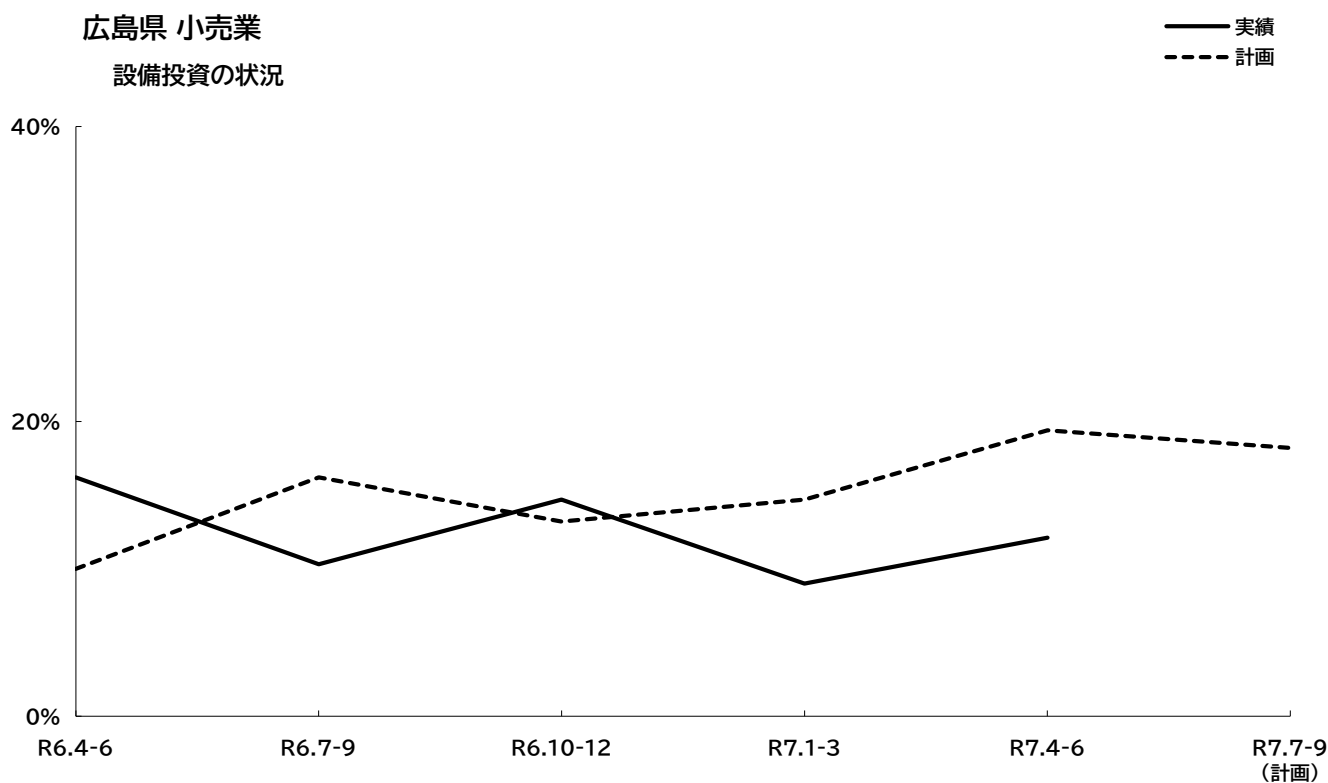
広島県 小売業

採算の状況－前年同期比－

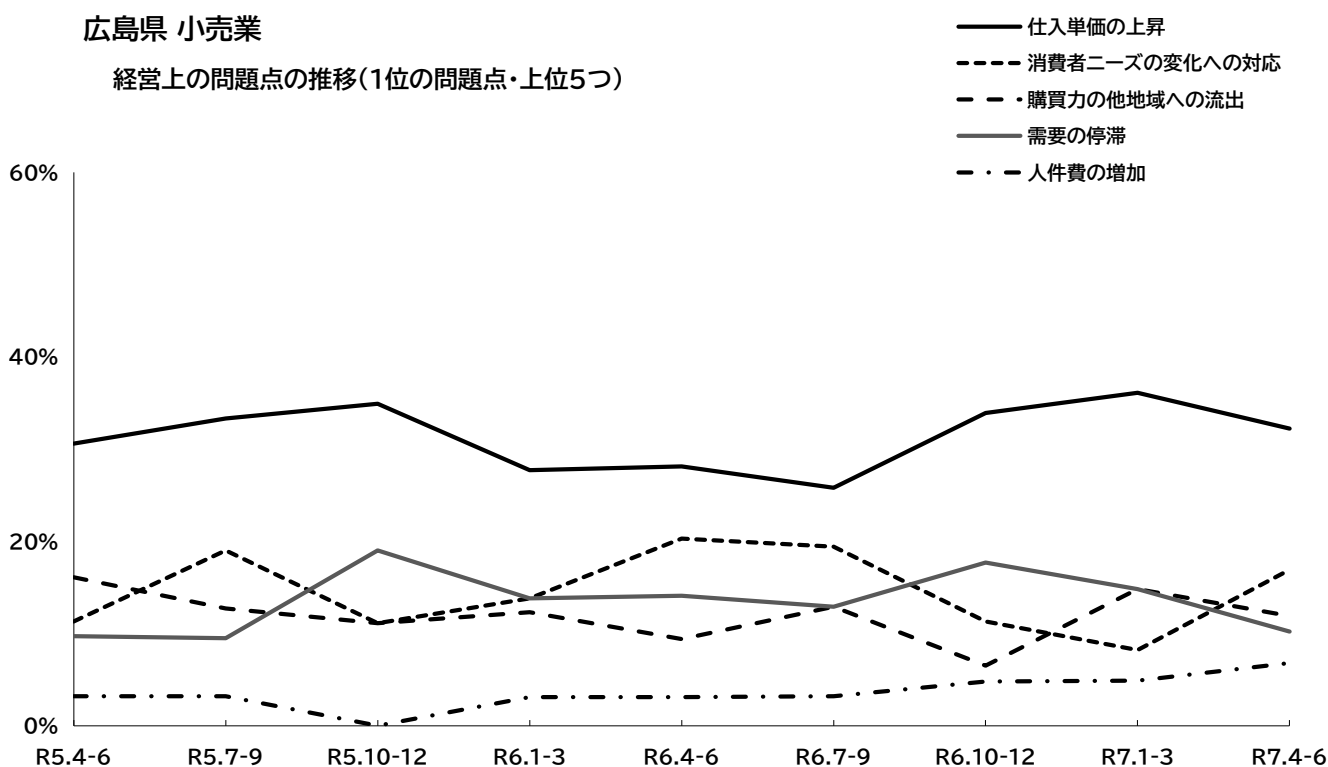


小売業（商工会地域）

4.設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



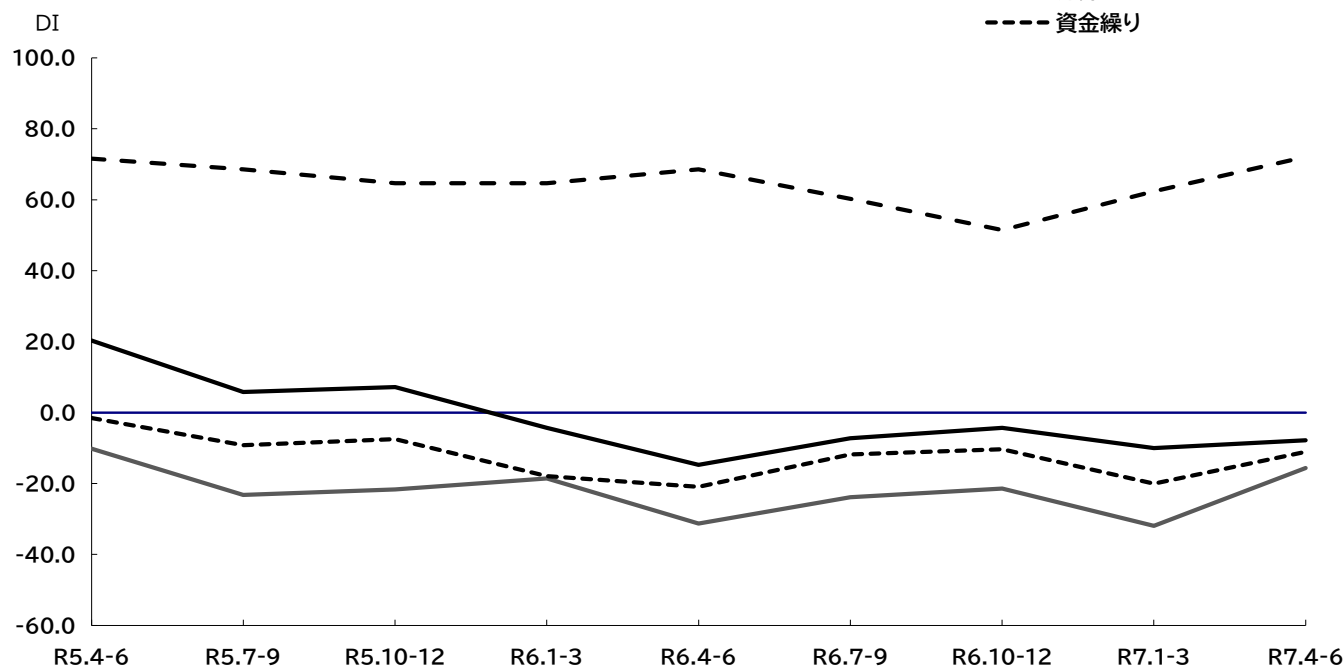
サービス業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	サービス業 DI （前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R7.1-3	R7.4-6	前期との比較	R7.7-9	今期との比較	
売上額	-10.0	-7.8	↗	-3.1	↗	
材料等仕入単価	62.4	72.1	↗	63.9	↘	
採算	-31.9	-15.6	↗	-14.1	→	
資金繰り	-20.0	-11.1	↗	-12.7	→	

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



企業のコメント

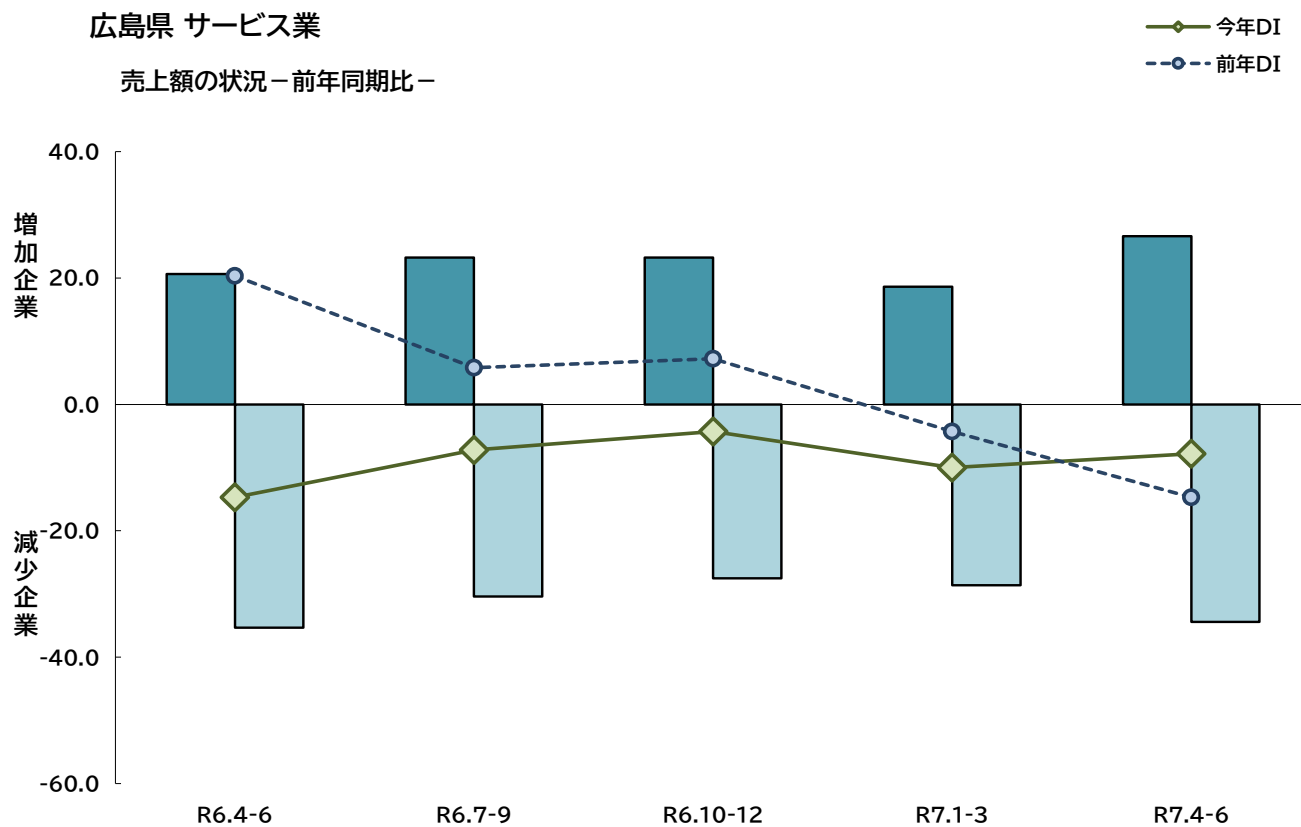
- ・タイヤやバッテリー等の各種部品の値上がりが激しく、その値上がり分を全体のサービス価格に反映する場合、技術料をはじめとするサービスの部分への反映がなかなか出来ずにいる状況。
- ・低価格帯のカット専門店が近隣に進出してきており、固定客を失わないようにSNS等も活用して顧客とのコミュニケーションを密にするよう徹底している。
- ・今のところ工賃の値上げは、うまく行っている。今後の課題として賃金をいかに上げるかが課題となる。店の老朽化と機械の老朽化をどうやって対応するかも今後の課題である。
- ・3月に開店5周年のチラシ投入をし認知度アップを行なうことができた。キャベツの価格が下がってきたものの、豚肉が20%上昇するなどコストが下がる要因は見通せなく6月には価格改定を実施予定。
- ・材料費特に米価が高くなり、経営が困難になった。価格に上乘せすると客離れにつながり苦慮している。顧客が高齢化して、利用人数も減少してきている。
- ・いろいろな食材を扱っているのもそれぞれが高騰し、値上げをしても追いついていきません。自分達も含めスタッフの高齢化と働き方改革でこれ以上の売上も望めない状況です。
- ・顧客の減少が見られるが新規客もあり年齢層が少し下がっていると感じられる。新しい技術や知識を導入できる様、努力する姿勢が大切と感じられる今期であった。物価の上昇と共に値上げも視野に入れ経営安定を図りたい

サービス業（商工会地域）

2. 売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

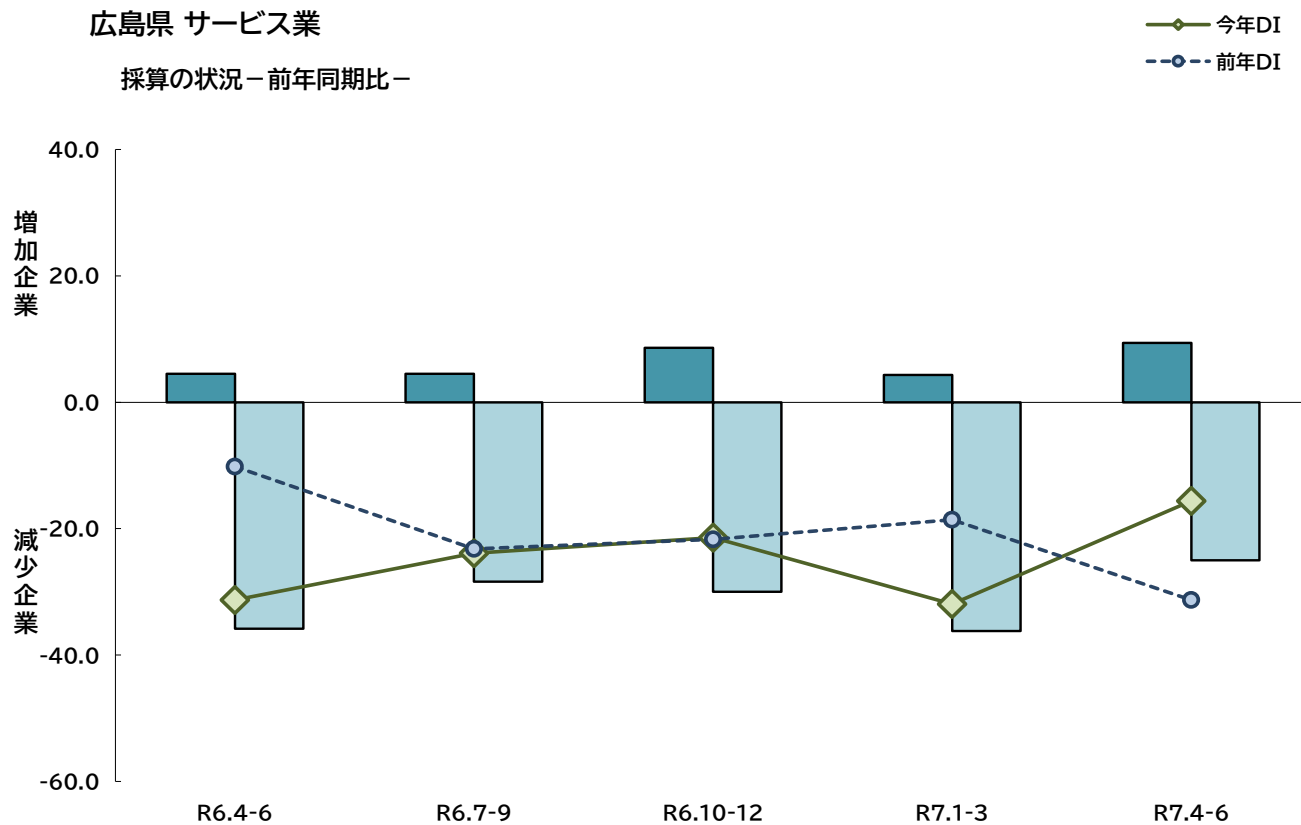
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

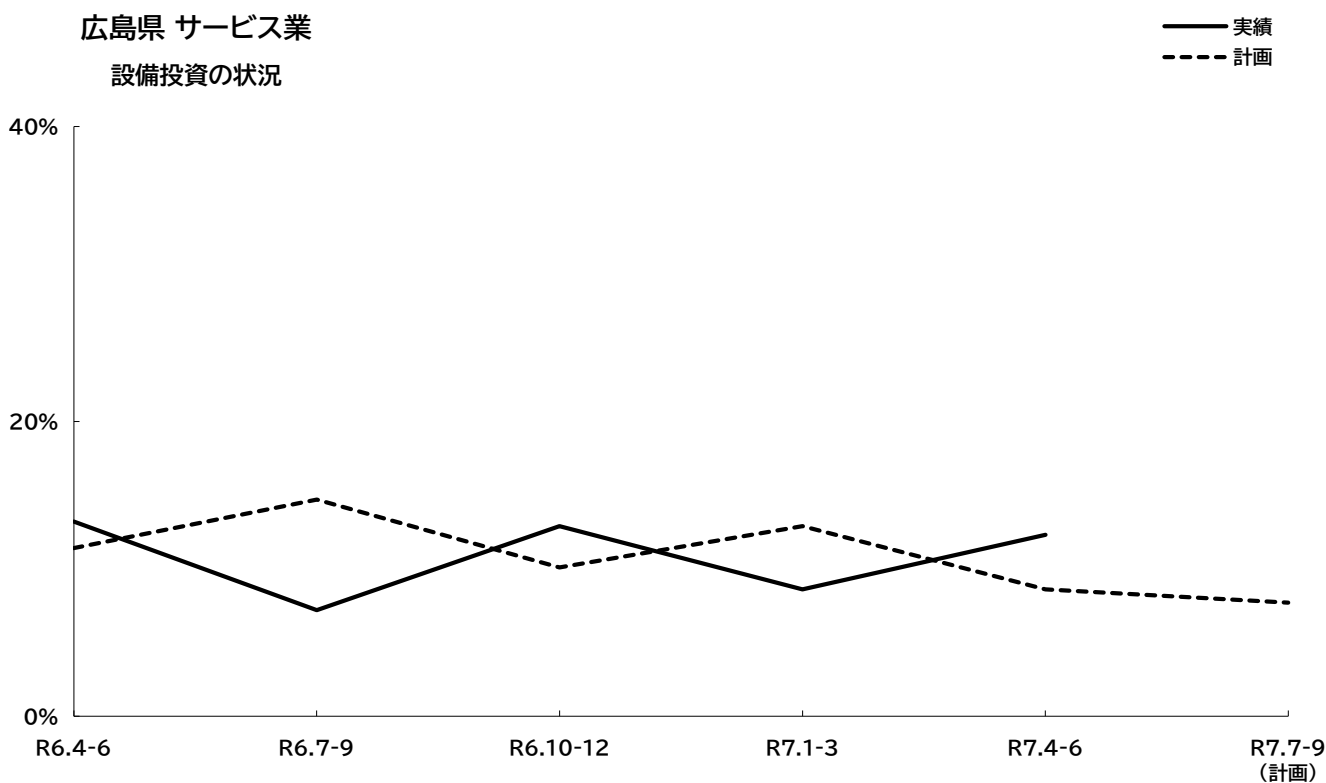
広島県 サービス業

採算の状況－前年同期比－



サービス業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

